

はじめに

(1) マネジメントサイクルの推進

○これまでの取組による成果の検証を更に徹底しつつ、県民ニーズを踏まえた真に有効な施策の実現に努めていく必要があります。

○そのために各種指標による現状分析や取組成果の評価、これらを踏まえた具体的な目標設定等を予算編成や事業の執行に反映していくという、マネジメントサイクルの取組が必要となります。(下図参照)



(2) 「重点課題に関する評価」について

○行財政運営の改善・見直しのために、「CHECK(評価)」はマネジメントサイクルにおける重要な要素です。今年度は、『令和6年度 奈良県政策集』(令和6年2月発行)で示した目標について、取組成果を分析・評価するとともに、課題を明確化した上で今後の取組方針を整理し、『令和5年度 重点課題に関する評価』としてとりまとめました。

○今回の評価結果を踏まえ、次年度の県政の取組や予算編成等に着実に反映させることで、奈良県の持つ限りない可能性を最大限に引き出し、誇りある奈良県を目指します。

目次

はじめに	P. 1
1. 評価書の見方	P. 3
2. 「令和6年度 奈良県政策集」と「重点課題に関する評価」における作成単位	P. 5
3. 重点課題に関する評価	
I 県民や事業者の安心と暮らしへの責任(3つの責任)	
1. 安全・安心の確保	P. 8
2. 福祉の充実	P. 9
3. 医療の充実	P. 10
II 奈良県の子ども、若者の未来への責任(3つの責任)	
4. こども・子育て支援の充実、女性活躍の推進	P. 11
5. 教育の充実	P. 13
III 豊かで活力ある奈良県を創る責任(3つの責任)	
6. 脱炭素・水素社会の実現	P. 14
7. 工業・商業の振興	P. 15
8. 観光の振興	P. 16
9. 食と農の振興	P. 17
10. 林業の振興	P. 18
11. 文化の振興	P. 19
12. スポーツの振興	P. 20
13. 南部東部地域の振興	P. 21
IV 3つの責任をしっかりと果たすために	
14. 県発展のための基盤整備	P. 22
15. まちづくりの推進	P. 23
16. 広域での連携	P. 24
17. 県庁の働き方・職場環境改革の推進	P. 25
18. 徹底した行財政改革	P. 26